

## みなさんの家にある排水用のマンホール（汚水マス）

実は木の根や地盤の影響で流れが悪くなったり、詰まってしまう事があります。

これは公共下水道を利用しているお宅であっても、合併浄化槽を設置しているお宅であっても同様に有り得ることです。下表1は当社にご依頼頂いた排水詰まり修理の主な原因をまとめたものです。「トイレが溢れた」「お風呂の水がなかなか流れきらない」「庭が濡れている」など、お問い合わせの内容は様々ですが、いざ確認してみると木の根が原因していた件数が最も多くなっています。

表1 排水詰まりの原因

排水マス内への木の根侵入による閉塞	42%
トイレ便器の異物による閉塞	28%
キッチン排水管の油脂による閉塞	13%
洗面台排水の髪の毛等による閉塞	10%
地盤沈下等による排水管の勾配不良	2%
その他の原因	5%

## 木の根の侵入が多く見られる汚水マスの特徴

- ・ポリプロピレン製（青緑色）であって、マスの口径が300mm程度のもの
  - \*フタの色は白のものが標準的である
- ・コンクリート製のもの
  - \*通常、フタの形状が丸いものが汚水用、四角いものが雨水用であるが、汚水用にも四角いものが使われる場合もある。

それぞれ排水パイプ（塩化ビニール製）との接合部、地面高までのかさ上げの接合部等に木の根の侵入が多く見られる。

## 排水用マスの種類と特徴

	耐久性	有効性	施工性	コスト	評価
硬質塩化ビニール製	○	◎	○	△*1	A
ポリプロピレン製	○	△*2	○	△*1	B
コンクリート製	△	×*3	×*4	△*5	C
公設マス	その材質により上記と同じ性能です。				

\*1 原油価格の高騰による原価の上昇

\*2 パイプとの接合部やかさ上げ部の接合シール材の劣化等により変化。

\*3 パイプとの接合部の水密性が低く、根が入りやすい。

\*4 重く扱いにくく、施工に時間がかかる。

\*5 需要が低いため、割高になっている。

## 1、まずは確認！

宅地内のマスの位置を把握しておく。（簡単な図面を用意する）  
庭土や庭石、玉砂利、芝生などに埋もれている場合があるので注意が必要。基本はキッチン、浴室、洗面所、トイレなど水まわりに一つずつ。家の四隅に90度曲がりのマス。公設マス。

## 2、フタを開けて、マス内の確認！

木の根が出ている場合には切っておく。一度根が入ってしまったマスは、季節によって木の根が早く伸びるので、定期的に根切りする必要があります。二週間程度で再度詰まった事例もあります。

## 3、大変ですが...

マスの周囲を掘り、マスに入り込んでいる木の根を切り取ります。浅い所ならそれほど時間もかかりませんが、深い所の根を取るのにはかなり大変ですので、定期的にマス内の伸びてきた根を柄の長いハサミ等を用いて切り取るようにしましょう。

## 4、当社でも

排水マスやパイプを定期的に洗浄する工事を承っております。年に一度、半年に一度といった形で、パイプやマスの汚れの程度にあわせてお手入れ方法を変えて対応致します。通常、宅地内のマスとパイプを高圧洗浄機を用いて作業した場合、18,000円（税込）ですが、マスの数や管の総延長等により多少の追加料金を頂く事があります。又、半年に一度のご予約ですと、さほど汚れもひどくなりませんので、木の根の除去作業など軽作業になりますのでご負担も少なく済みます。

## これで解決！

1、詰まりのあるマスの周囲を掘り、伸びてきている木の根を取り払います。

2、硬質塩化ビニール製の小口径マスに交換します。\*1

\*1 一箇所のマスを交換する費用はおよそ 25,000円 が目安ですが、マスの埋設深度や周囲の状況、現在の施工状況等により増減します。

@ 硬質塩化ビニール製のマスと排水パイプは同質素材であり、接合部には専用の接着剤を用います。マスとパイプが溶け合うようなイメージで接合する為、非常に水密性が高く、木の根が入り込む心配はまずありません。

その他にも原因となっている木そのものを切ってしまう方法もあります。特に支障がないようでしたらお勧めします。しかし、垣根などに用いられている場合には、取り払った木の代わりにフェンスを設けるなどの対応が必要になる事が多々あります。マス周囲の状況やご予算にあった対処方法をお選び下さい。